令和４年度　　（　宮城県立小松島支援学校　）学校の研究概要　～令和５年１月末現在～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　運営委員氏名（　　　高橋　尚之　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究テーマ | 児童生徒一人一人を大切にした生活単元学習の工夫  評価・改善シートを用いた授業の改善  ※２年目 |
| 研究目標 | 「各教科等を合わせた指導」の意義と各教科等の指導内容との関連について理解するとともに，的確な実態把握や目標設定，手立ての工夫を通して，個の実態に即し，適切に個の能力を引き出すよう生活単元学習の指導の充実を目指す。 |
| 研究の計画  今年度の  　研究計画と内容 | 研究機関～３年間  研究の内容と方法  （１）作成し直した生活単元学習の年間指導計画を踏まえた授業計画と実践を行う。  　　（２）小・中・高の各学級，Ａ課程において，生活単元学習の授業を提供し，学部ごとの実情に応じて参観，ビデオ，リモート等による研究授業を行い，「評価・改善シート」を活用しながら事後検討会を行う。  　　（３）新学習指導要領に基づく生活単元学習の授業作りに関する研修会を実施する。  　　（４）学部ごとの事後検討会で出た成果と課題をまとめ，全体会で発表を行い，学校全体で共通理解を図る。  令和４年度　＜学部ごとの取組：教師の指導に視点を置く＞  　　　　・新学習指導要領に基づく生活単元学習の授業づくりに関する研修会を実施する。  ・作成し直した生活単元学習の年間指導計画を踏まえた授業計画と実践を行う。  　　　　・「評価・改善シート」を作成，活用しながら研究授業を行う。  　　　　・学部ごとに研究授業，事後検討会を行い，指導上の課題や改善点を見付けていく。 |
| これまでの  研究経過 | 令和３年度　＜学校としての共通理解：全体での取組＞  　　　　・各教科等を合わせた指導の在り方について，新学習指導要領を押さえつつ共通理解する。  　　　　・外部講師やオンラインによる研修を行い，先進校の取組などについて研修を行い，各教科等を合わせた指導についての理解を深める。  　　　　・本校の児童・生徒の生活上の課題や問題は何かを分析（保護者のニーズ，実態調査等）し，各学部が目指す教育（児童・生徒，各目標）に合った内容，配列になっているかを検証する。  　　　　・学部ごとに年間単元計画，題材配当計画の見直しを行う。 |

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお，項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。